

農業委員会のコーディネートによる地域の話合いの取組					福井県小浜市
認定農業者等数	52経営体	農地面積	1,410ha	主な農畜産物	米、福井梅、ミディトマト
地域の課題			取組概要①		
・担い手への農地の集積率が低かった(平成26年度で35.4%)。 ・県内他市町と比較して、遊休農地率が5%と高く、特に中山間地域が多い。 ・昭和50年代に土地改良が行われた10a～30aの農地が多く、60代、70代の兼業農家を中心に維持されてきたが、高齢化や機械更新時の離農時に誰に預けてよいか分からず、耕作放棄地が増加していた。 ・10年以上前は春先の2月末に地域毎に耕作者と県、市、農業委員会、JAとの営農座談会が開催されていたが、そのような話合う機会がなくなっていた。 ・現状維持が精いっぱい、将来の農業について集落の中であまり意識されていなかった。			・平成27年度と29年度に全農家アンケートを実施。 ・アンケート結果と10年後の農地の予測状況図をもとに、地域での話合いを実施 ・地域計画の前身である人・農地プランの話合いと併せて、農地中間管理事業や地域集積協力金を活用した土地改良や獣害柵の設置等、具体的な話を進めた。 ・また地権者等農地を維持管理するサポーターを組織化し、地域資源管理法人の設立を進めた。		
取組概要②			今後の予定		
・アンケートの実施と人・農地プランの話合いを農業委員・農地利用最適化推進委員が集落と調整。 ・農業委員・推進委員は、集落の農家組合長や農業関係役員と話合いを行った上で、集落全体の話合いを実施。 ・市職員が話合い用の資料等を準備。 話合いには人・農地プラン担当者と農地中間管理事業担当者が同席。 ・話合いの進捗や農地中間管理事業の手続き状況等について、農業委員・推進委員が総会等で情報共有。			・改選により7月20日に農業委員会が新体制になり、8月17日に農業委員・推進委員と集落の農業関係役員を対象に、専門家を迎えた地域計画の全体研修会を実施。 ・翌日8月18日に専門家を交えて各地域毎に個別の地域計画相談会を実施。 ・稲の収穫後、秋以降に農業委員・推進委員を中心に集落の農業関係役員と地域計画の話合いを実施し、方向性と目標地図素案の検討。 ・検討した内容をもとに地域全体での話合いを実施。		